



青 於

1月号



読み聞かせ (12/12)

本校では、「ひばりの会」「さいこうクラブ」「職員」「図書館司書」による読み聞かせを、年間20回程度行っています。

絵本は、脳と心の発達によいことが、科学的にも立証されています。絵本を読んでもらっているときは、テレビやYouTubeなどを見ているときに比べて、子供の脳が活発に動きます。読んでもらうことで、本がどんどん好きになります。また、絵本の登場人物の感じた喜びや楽しさ、悲しみや悔しさなどを体験することで、子供の心も豊かになります。ご家庭でも、お子さまに読み聞かせをしてあげてはいかがでしょうか。



家庭教育学級 (12/13)

第5回の家庭教育学級は、田村絵美さんを講師にお招きして、「親子で楽しくギョウザを作ろう」というテーマ



で、餃子づくりをしました。親子で協力して作った餃子は、とてもおいしくできました。



町たんけんのお礼 (12/17)

町たんけんでお世話になった、学校の近くにある3軒のお店に、お礼に行きました。グループごとに、町たんけん調べたことをまとめた模造紙と学校の落ち葉で作ったガーランド（天井や壁に飾るフラッグ状のインテリア）を持参しました。



始業式の話(1/8)「一年の計は元日にあり」

「一年の計は元日にあり」という言葉があります。「何事も、一年の始めに計画や準備をすることが大切である」という意味です。この言葉は、「一年の計は春にあり 一月の計は朔(ついたち)にあり 一日の計は鶏鳴(けいめい)にあり」という言葉に由来しており、戦国時代に中国地方のほとんどを領地にした毛利元就という戦国武将が、作ったとされています。毛利元就は、「三本の矢」という考え方も後世に残しています。「矢は一本だと簡単に折れるが、三本束ねると簡単には折れない。一族も結束して強靱に生きなさい。」という意味で、「協力することの大切さ」を、3人の子どもに教えました。



今年は、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に、それぞれ学年が1つ上がる年です。5年生は、最上級生になります。そして、6年生は、小学校の仕上げの年であり、中学生になる年です。しっかりとした気持ちで3学期のスタートが切れるよう、できるだけ早く新しい年の目標を作り、それに向かって努力してください。



なかよし集会 (12/20)

世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」、

「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日から10日まで)を、「人権週間」と定められています。大内西小でも人権週間が定められている12月を「なかよし月間」とし、人権に関するいろいろな行事を行っています。その一つの行事として、「なかよし集会」を行い、「人権に関する話」を聞いたり、「わたしと小鳥と鈴と」を歌ったりしています。



その一つの行事として、「なかよし集会」を行い、「人権に関する話」を聞いたり、「わたしと小鳥と鈴と」を歌ったりしています。



かるた大会 (1/7)

真岡市の武道体育館で、百人一首かるた大会が行われ、5年生6名が参加しました。3チームのリーグ戦で2勝し、決勝トーナメントに進みました。ベスト4をかけて真岡小と闘いましたが、僅差で負けてしまいました。子どもたちは、

とても頑張りました。優勝は、真岡西小でした。



避難訓練 (1/16)

今回の訓練で、1年生から3年生は、火事の際に煙が充満して何も見えなくなってしまうことを体験しました。また、4年生から6年生は、3階視聴覚室から脱出袋を使って避難する体験をしました。

